

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	I-4	○運営推進会議を活かした取り組み 会議において数回の家族の参加が見込めたが、仕事の都合、入居者以外の家族の介護、支援者自身の病気等、参加困難理由があり、参加が難しい。参加呼びかけの継続実施、取り組みについての理解を得るようにする。	運営推進会議録の内容に興味を持って頂けるよう課題設定を、身近な問題に設定してみる。	お誕生会等、行事を盛り込み家族の参加しやすい会議とする。面会時等、問題を提起し、解決に向けた参考意見を頂く。	12か月
2	Ⅲ-35	○災害対策 施設において、新しく近隣の協力委員を募る必要がある。水害想定の実施を行う。	ホームで行われる訓練に、ご家族や地域の消防団、企業等に参加協力要請できるようにしたい。色々な災害を想定した訓練を継続的に実施する。	町内会役員や地域参加の運営推進委員、民生委員等を通じ、協力して頂ける方を募集。避難訓練等に参加して頂き、グループホームの利用者の状況や避難誘導事項について理解し、協力していただく。また、色々な災害に応じた訓練を実施し、適意に対応できるようにする。	12か月
3	I-3	○事業所の力を活かした地域貢献 認知症カフェを開催し、地域の方へのチラシの配布や連携医院へのチラシの掲示を行っているが、認知症の方や家族の参加が少ない。予算不足やボランティアで講義できる講師が少ない。	認知で困っているご本人様や家族の身近な心の拠り所として、グループホームひまわりを知っていただきたい。	認知症カフェは継続し、認知症の方や家族の方が、気軽に立ち寄り相談できるカフェ開催を行う。 随時の施設見学や相談援助も継続する。 ボランティアで協力できる講師を募る。	12か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。